

「第5次宇都宮市障がい者福祉プラン」の進捗状況について

◎ 趣旨

「第5次宇都宮市障がい者福祉プラン（以下「第5次プラン」）」（計画期間：平成30年度～令和5年度）における成果指標，施策指標，進行管理対象取組の進捗状況について，評価するもの

1 計画の評価について

(1) 評価の考え方

- 基本目標（3つ）における「成果指標」や「施策指標」の達成度（現状値/目標値）を評価するとともに，進行管理対象の取組実績を評価（資料3－別紙参照）

区分	評価
達成率 100%以上 または 取組内容を <u>実施</u>	A 順調
達成率 70%以上 100%未満 または 取組内容を <u>一部実施・検討</u>	B 概ね順調
達成率 70%未満 または 取組内容に <u>未着手</u>	C やや遅れている

(2) 各基本目標の評価

基本目標 1 自分らしく生き生きと自立して暮らせる社会の実現

【成果指標：就労，製作活動，自立訓練などの日中活動をしている障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
65.4%	70.0%	65.6%	93.7%	B

基本施策 1 就労支援の充実

【施策指標：一般就労への移行者数】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
71人	127人	97人	76.4%	B

【施策指標：就労継続支援事業所における平均工賃月額】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
16,293円	20,000円	17,895円	89.4%	B

基本施策2 社会参加活動の充実

【施策指標：文化・スポーツ講座、交流活動等に参加している障がい者数】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
23,340人	23,590人	17,425人	73.9%	B

【施策指標：ボランティア養成講座受講者数】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
316人	349人	252人	72.2%	B

基本施策3 外出・移動支援の充実

【施策指標：外出・移動支援サービスに満足している障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
51.2%	70.0%	56.6%	80.1%	B

◎ 進行管理対象取組の評価

取組名	実績	評価
障がい者就職サポートの推進	「就職ガイダンス」の開催、「就労体験会」の新規実施	B
工賃向上支援事業の充実	「わく・わくショップU」における製品販売、大型商業施設におけるマルシェ等の販売会の実施、「福祉的就労業務開拓・マッチング事業」の実施	B
全国障がい者スポーツ大会の開催	国体と連携した広報、県や団体と連携した大会の開催	A
ボランティアの協力による社会参加活動の促進	ボランティア活動の入門講座の土曜実施、団体と連携した専門的知識を深める講座の実施	B
外出・移動支援サービスの充実	「個別支援型」、「グループ支援型」の移動支援の実施	A
通学・通所における移動支援の推進	「移動支援事業」における移動介護、「通学通所支援」の実施	A

<評価・課題等>

【成果指標について】

- ・ B評価となっており、「就労・製作活動・自立訓練などの日中活動をしている障がい者の割合」の現状値が65.6%と横ばいの状況であり、今後も引き続き、自立した日常生活や社会生活を送ることができる環境づくりを推進する必要がある。

【施策指標について】

- すべてB評価であり、特に社会参加の項目では、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出ているが、令和5年5月に「5類感染症」へ移行したことから、社会参加への意欲が向上していくと想定され、今後も引き続き、文化・スポーツ活動等の社会参加への支援の充実を図る必要がある。

【進行管理対象取組について】

- 概ね順調な進捗状況となっているが、「障がい者就職サポートの推進」では、障がい者が個々の特性に応じた就労先を見つけられるよう、就労体験会や就職ガイダンスにおける参加企業等の拡大に取り組むなど、障がい者の経済的自立に向け、障がい者の就職に繋がる機会の創出や障がい者と雇用する側の相互理解の促進を図っていく必要がある。
- 「外出・移動支援サービスの充実」では、新たに複数の障がい児・者への同時支援を行う「グループ支援型」など実施したところであるが、基本施策3「外出・移動支援の充実」の施策指標「外出・移動支援サービスに満足している障がい者の割合」の目標値に届かなかったことから、更なる外出・移動支援の充実に取り組んでいく必要がある。

基本目標2 乳幼児期から生涯にわたり地域で安心して暮らせる社会の実現

【成果指標：将来の生活に不安を感じている障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
51.3%	40.0%	40.1%	99.8%	B

基本施策1 発達支援の充実

【施策指標：特別支援教育の推進において、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、実態に応じた指導を実践している教員の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
95.9%	100.0%	99.0%	99.0%	B

【施策指標：計画相談支援を利用している障がい児の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
35.0%	70.0%	34.5%	49.3%	C

基本施策2 相談支援の充実

【施策指標：困っているときに相談できる場所を知っている障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
95.9%	100.0%	92.7%	92.7%	B

基本施策3 住まいの場の充実

【施策指標：現在の住まいに満足している障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
59.5%	75.0%	55.6%	74.1%	B

【施策指標：グループホームの棟数】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
62棟	114棟	154棟	100.0%	A

基本施策4 保健・医療充実

【施策指標：医療やリハビリテーションについて満足している障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
82.1%	86.0%	90.1%	100.0%	A

基本施策5 障がい福祉サービス等の充実

【施策指標：障がい福祉サービスに満足している障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
87.5%	92.0%	91.2%	99.1%	B

【施策指標：障がい児福祉サービスに満足している障がい児の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
78.7%	84.0%	86.8%	100.0%	A

◎ 進行管理対象取組の評価

主要取組	計画期間中の取組	評価
発達支援ネットワーク事業の充実	「医療的ケア児支援のための手引書」の作成・配付，事業所等及び医療的ケア児の支援に係る実務者との意見交換会の実施	A
障がい児通所支援事業の推進	迅速な給付の要否決定，請求に対する適正な審査と給付費の支払い	A
学校組織の対応力強化と教員の指導力の向上	指導主事や学校生活適応支援アドバイザー等による学校訪問，通級指導教室担当者への研修会を実施	A
地域生活支援体制の整備	地域生活支援体制の整備，運用状況の検証	A
地域における相談支援体制の充実	緊急時相談支援事業開始，ブロック別研修の実施，障がい者生活支援センターの増設	A
グループホームの設置促進	障がい者福祉施設整備費補助金，グループホーム設置費及び設置促進事業補助金の交付	A

精神障がい者の地域生活への移行促進	県の地域移行ワーキンググループに参画，自立支援協議会に「精神障がい者地域移行・定着支援部会」を設置・開催	B
障がい福祉サービス等の充実	法定サービスや地域生活支援事業の実施，「重度障がい者等就労支援特別事業」の開始	A
計画相談支援の推進	円滑なサービス等利用計画の作成，県の「相談支援従事者初任者研修」の受講勧奨	A

【成果指標について】

- ・ B評価で概ね順調な進捗状況となっているが、「将来の生活に不安を感じている障がい者の割合」の現状値が40.1%であるため，今後も引き続き，自分らしく生き生きと自立して暮らせる環境づくりを推進する必要がある。

【施策指標について】

- ・ 概ね順調な状況であるが、「計画相談支援を利用している障がい児の割合」は，目標値を下回りC評価となっているが，「障がい児福祉サービスに満足している障がい児の割合」の施策指標からは，障がい児の状況に応じた一定の支援は受けられているとみられることから，今後もより専門的な視点から一人ひとりの状況に適したサービス利用ができるよう，引き続き，保護者の計画相談支援の利用促進に取り組んでいく必要がある。
- ・ 「住まいの場の充実」については，「グループホームの棟数」が目標値を大きく上回る一方で，アンケート調査において，約7割の方が重度の障がい者を受け入れることができる住まいの場の確保が必要と回答している。また，団体との意見交換においても，複数の団体から，重度の障がい者を受け入れることができるグループホームを増やしてもらいたいとの意見があり，引き続き，住まいの場の充実に取り組んでいく必要がある。

【進行管理対象取組について】

- ・ 「精神障がい者の地域生活への移行促進」の目標である「精神障がい者地域移行・定着支援部会」を達成したものの，令和2年に策定したサービス計画において，精神障がい者の地域移行について，「精神障がい者の地域移行に係る目標を設定し，関係者が情報共有や連携を図りながら，支援を実施すること」を目標としており，目標達成に向け，引き続き，取り組んでいく必要がある。

基本目標3 互いに尊重し支え合う暮らしやすい社会の実現

【成果指標：日常生活において社会的障壁を感じている障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
62.9%	50.0%	57.6%	86.8%	B

基本施策1 障がい者への理解促進

【施策指標：障がい者シンボルマーク等の認知度】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
48.2%	61.0%	49.5%	81.1%	B

【施策指標：障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると感じている人の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
64.3%	58.0%	29.4%	100.0%	A

基本施策2 権利擁護の充実

【施策指標：「成年後見制度」を知っている障がい者の割合】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
46.5%	63.0%	44.5%	70.6%	B

基本施策3 バリアフリーの推進

【施策指標：障がい者のための各種奉仕員養成講座の修了者数】

計画策定時	R5 目標値	現状値	達成率	評価
76人	88人	67人	76.1%	B

基本施策4 災害時支援・地域の多様なネットワークの充実

【施策指標：災害時要援護者支援班設置地区における台帳共有地区数】

計画策定時	目標値	現状値	達成率	評価
28地区	39地区	34地区	87.2%	B

◎ 進行管理対象取組の評価

主要取組	計画期間中の取組	評価
障がいを理由とする差別解消の促進	ヘルプマーク・ヘルプカードの配付, 合理的配慮の促進に係る動画放映, 障がい者手帳アプリの導入	A
障がい特性に応じた配慮の促進	障がいについての研修・出前講座の実施	A

障がい者虐待防止に関する事業の推進	虐待防止に関する周知，緊急一時保護事業の実施	A
意思疎通支援の充実	音訳，点訳，手話奉仕員の養成講座開催	A
災害時要援護者支援事業の推進	制度理解のための地区説明会，名簿更新	B
自立支援協議会の活動の充実	自立支援協議会の全体会・各部会の開催	A

<評価・課題等>

【成果指標について】

- ・ B評価であり，概ね順調な進捗状況となっているが，57.6%の障がい者が社会的障壁を感じていることから，引き続き，互いに尊重し支え合う暮らしやすい社会の実現に向けた取組が必要である。

【施策指標について】

- ・ 「障がい者シンボルマーク等の認知度」及び「成年後見制度を知っている障がい者の割合」が計画策定時の数値を下回っており，更なる障がい者への理解促進や成年後見制度の周知を図る必要がある。
- ・ 「障がい者のための各種奉仕員養成講座の修了者数」については，新型コロナウイルス感染症の影響により，計画策定時の数値を下回っているが，「5類感染症」への移行や障がい者の情報取得・利用等を推進する法律が制定されたことを踏まえ，更なる情報アクセシビリティの向上を図る必要がある。

【進行管理対象取組について】

- ・ 概ね順調な進捗状況となっているが，「災害時要援護者支援事業の推進」では，災害時要援護者支援制度の台帳共有地区数について，計画策定時の28地区から34地区まで整備できたものの，目標とする全39地区に届かなかったことから，引き続き，事業推進に取り組んでいく必要がある。

2 計画全体の評価について

- ・ 3つの成果指標は，いずれもB評価である。
- ・ 18の施策指標については，A評価が4，B評価が13，C評価が1で，全体として概ね順調な進捗状況である。
- ・ 進行管理対象取組については，A評価の取組が76.2%，B評価の取組が23.8%であり，予定どおり順調に取り組むことができた。
- ・ 目標に到達しない取組について，目標値の達成に向け，積極的に取組を推進するとともに，次の課題について取組んでいく必要がある。

3 計画全体の課題について

- (1) 就労支援
 - ・ 障がい者の経済的自立に向け、障がい者の就職に繋がる機会の創出や障がい者と雇用する側の相互理解の促進が必要
- (2) 社会参加活動
 - ・ 文化・スポーツ活動等の社会参加への支援の充実が必要
- (3) 外出・移動支援
 - ・ 社会参加の促進に向け、更なる外出・移動支援の充実が必要
- (4) 地域移行・住まいの場
 - ・ 障がい者の重度化・高齢化や親なき後への対応を図るため、更なる住まいの場の確保が必要
- (5) 療育
 - ・ 専門的な視点から一人ひとりの状況に適したサービス利用ができるよう障がい児の保護者の計画相談支援の利用促進が必要
- (6) 障がいへの理解促進・権利擁護
 - ・ 幼少期からの障がい者への理解促進や成年後見制度の周知が必要
 - ・ デジタル活用等による情報アクセシビリティの向上が必要
- (7) 災害対策
 - ・ 適切な避難等ができるよう災害時要援護者支援事業の推進が必要